

ホームページのご紹介



<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

 日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(東京国際空港内)

TEL:03-5757-8000

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

証券コード:9706

Japan Airport Terminal Co., Ltd.

第65期 中間事業報告書

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

平成20年4月1日～平成20年9月30日

 日本空港ビルディング株式会社





Japan Airport Terminal Co., Ltd.

# 日本空港ビルディング株式会社

昭和28(1953)年、当社は東京国際空港(羽田)の旅客ターミナルビル建設・管理運営を目的として設立されました。

現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

CS理念「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」の下、すべてのお客様にご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

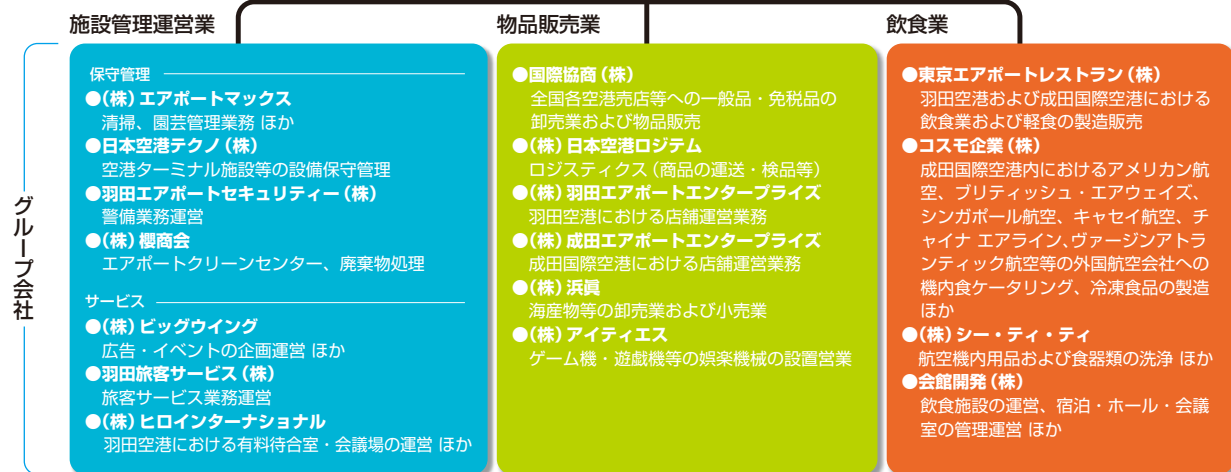
### 基本理念

- 公共性と企業性の調和

### 経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客様本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

## 日本空港ビルディング(株)



グループ会社

### Contents

株主の皆さまへ	01	連結財務諸表	12
社長インタビュー	02	連結財務ハイライト	14
特集	04	単体財務諸表	15
トピックス	08	株式情報	16
事業別概況	10	会社概要	17



To Our Shareholders

## 株主の皆さまへ



### 羽田空港再拡張など環境変化を的確にとらえ、経営基盤をさらに強化し、顧客第一主義を一層推進します。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第65期の中間期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)のご報告をするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当社が事業を展開しております航空業界は、足元の燃油価格は下落傾向にありますが、依然として高値で推移していることに加え、物価上昇および景気の先行き不透明感の高まりに伴う消費者マインドの低下や、為替相場の急激な変動、中国における食の問題や四川大地震等に代表される不安定な海外情勢を背景に、国際線旅客数の減少傾向が強まるなど、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは引き続き旅客ターミナルビルにおける安全対策強化に全力を傾注するとともに、顧客第一主義の徹底を図り、全社をあげて一層のサービス向上に努めてまいりました。

また、当社グループを取り巻く経営環境の変化に対応し、企業

価値のさらなる向上を迅速かつ強力に実行するための組織変更や、東京国際空港(羽田)国際線旅客ターミナルビル増改築工事、成田国際空港における当社免税店のリニューアル等の、経営の合理化・効率化策や業務の活性化策を推進し、社業発展と経営基盤の強化に努めてまいりました。

今後とも、国内航空輸送網の拠点である羽田空港における国内線および国際線旅客ターミナルビルを建設、管理運営する企業としての社会的役割を深く認識し、全社をあげて厳しい経営環境に耐え得る企業体力の形成と経営基盤の強化を図るとともに、公共性と企業性の調和のとれた経営を目指すことにより、一層の社業の充実発展に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長

鷹城 勲



## 社長インタビュー

旅客ターミナルビルの増築・改修工事、店舗等の新設・改修工事で業務の活性化と経営の合理化・効率化を図り、2010年10月の羽田空港再拡張に向けて、一層の社業発展に努めてまいります。



代表取締役社長  
たかしろ いはるお  
鷹城 勲

## 略歴

昭和43年4月 当社入社  
平成11年6月 当社常務取締役  
平成13年6月 当社専務取締役  
平成15年4月 当社代表取締役副社長  
平成17年4月 当社代表取締役社長(現任)

Q1

当中間期の連結業績について聞かせてください。

A1

当中間期の連結業績につきましては、国際線旅客数減少と景気停滞などの要因により、営業収益は690億8千9百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は39億円(前年同期比12.4%減)、経常利益は42億7百万円(前年同期比4.4%減)、中間純利益は法人税等調整額の減少により23億6千3百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

Q2

今後の経営戦略について聞かせてください。

A2

当社グループの営業の基盤となる羽田空港におきましては、首都圏における将来の航空需要の増大に対応するため、新たに4本目の滑走路等を整備する「東京国際空港再拡張事業」、およびその新滑走路の供用開始に合わせて

## ● 中期経営計画(収支計画等)

収支計画 (単位: 億円)	2007年度		2008年度		2009年度 ※(目標)
	実績	※(目標)	※(業績予想)	※(修正予想)	
営業収益	1,394	1,400	1,434	1,362	1,375
施設管理運営業	382	379	389	389	381
物品販売業	855	860	887	821	830
飲食業	155	161	158	152	164
営業利益	77	88	87	71	102
経常利益	78	86	90	74	100

※目標…2007年5月中期経営計画発表、業績予想…2008年5月発表、修正予想…2008年11月発表

PFI手法により新しい国際線ターミナル、エプロン等を整備する「東京国際空港国際線地区整備等事業」が進められております。当社が中核となり航空会社等と出資設立し、業務支援に注力しております「東京国際空港ターミナル株式会社」におきましても、新国際線旅客ターミナルビル等の2010年10月供用開始に向けて、本年5月に旅客ターミナルビル等の整備工事を着工いたしました。

このような中、当社グループは国内航空輸送網の拠点である羽田空港における国内線および国際線旅客ターミナルビルを建設・管理運営する企業として、絶対安全の確立および同空港利用者の利便性の向上に努めることにより、確実に社会的責任を果たしてまいります。

世界的な金融危機の深刻化や株式・為替市場の不安定化などにより景気の状態がさらに厳しいものとなるリスクが存在すること、旅客数も当初の予想を下回ると見込まれることなど厳しい経営が想定されますが、当社グループは

2007年5月に策定した2009年度を最終年度とする中期経営計画の達成に積極的に取り組み、今後ともさらなる企業価値の向上を目指し、より一層諸施策の充実に努めてまいります。

Q3

株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A3

当社は公共性と企業性の調和を基本理念とし事業を展開しております。また、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、より一層積極的な姿勢で経営に取り組み、業績の向上に努め、羽田空港旅客ターミナルビル増築工事等の大規模投資等を考慮し内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施していきたいと考えております。

当期の中間配当につきましては、このような考え方にに基づき、1株につき6.5円とさせていただきます。

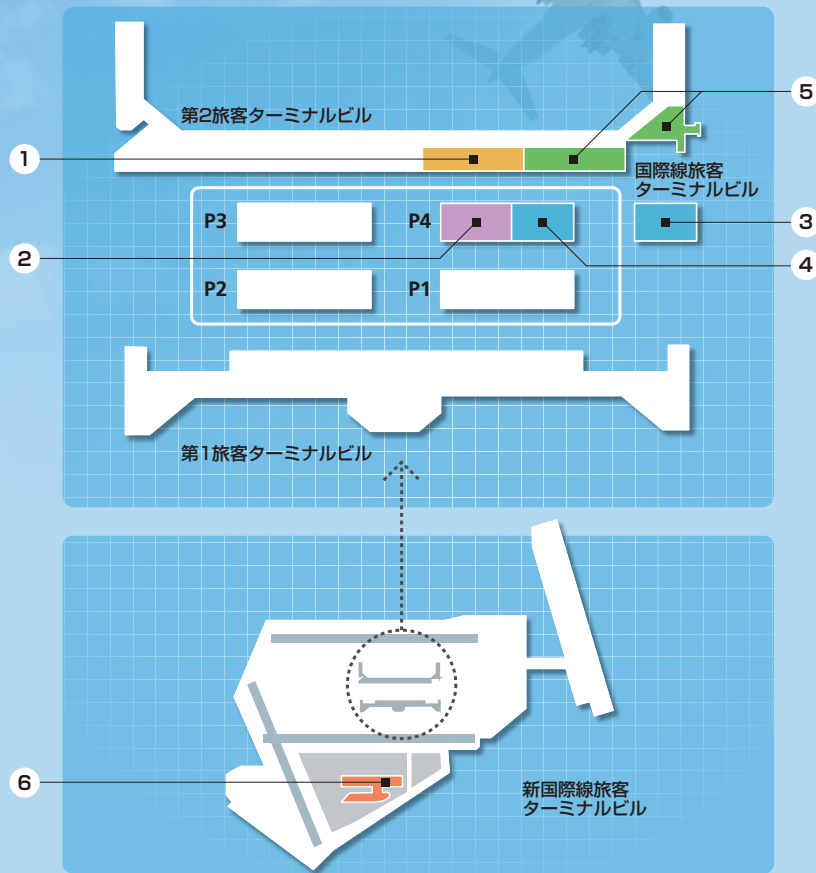


# 特集

## 飛躍する羽田空港

2010年10月の羽田空港再拡張に向け、当社グループをあげ、万全の体制で対応してまいります。

- 1 第2旅客ターミナルビルⅢ次計画**  
・本館部分 2008年12月着工予定
- 2 P4駐車場立体化**  
・本格立体駐車場 2008年度内着工予定
- 3 国際線旅客ターミナルビル 拡張・改修工事(チャーター便対応)**  
・投資額 21億円 2007年11月完成
- 4 P4駐車場立体化**  
・簡易立体駐車場(800台)  
投資額 20億円  
2007年12月完成・供用開始
- 5 第2旅客ターミナルビルⅣ次計画(予定)**  
・3スポット、本館部分  
(新国際線旅客ターミナルビル供用後)
- 6 新国際線旅客ターミナルビル**  
・建設主:東京国際空港ターミナル株式会社  
・延床面積:159,300平方メートル  
地上5階建て 2008年5月着工



### 羽田空港再拡張事業の要旨

国により進められておりますこの再拡張事業では、「D滑走路整備事業」と、旅客ターミナルビル等整備・運営事業、貨物ターミナル整備・運営事業、エプロン等整備等事業に関わる「国際線地区整備等事業」を大きな柱としています。

#### ● 再拡張事業の概要



※国土交通省資料を基に当社作成

#### ● 再拡張事業の目的

発着能力の増強(1.3倍)

30.3万回/年 → 40.7万回/年

- ➔ 発着容量制約の解消
- ➔ 利用者の利便性の向上
- ➔ 将来の国内航空需要対応と国際線定期便の受け入れを目指す

### 主な取り組み

- CASE | 1 羽田空港第2旅客ターミナルビルの増築(Ⅲ次計画)**  
今後の航空需要に対応するとともに、さらなる利便性、機能性の向上を図るため、羽田空港第2旅客ターミナルビルの増築工事を実施。
- CASE | 2 P4本格立体駐車場整備**  
第2旅客ターミナルビル前面に、約1,600台規模の本格立体駐車場の建設工事に着手し、お客様の利便性向上、空港内駐車場の混雑緩和を図ります。
- CASE | 3 新国際線旅客ターミナルビル建設**  
国際旅客定期便の就航に伴い、東京国際空港ターミナル株式会社が、新国際線旅客ターミナルビルの新築工事を実施。

※当社は新国際線旅客ターミナルビル等整備・運営事業を行う特別目的会社「東京国際空港ターミナル株式会社」の主要出資者として、事業の適切な推進を支援しております。

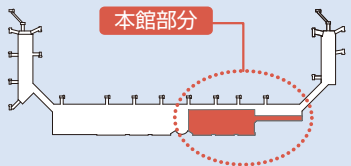


# 特集 飛躍する羽田空港

## 羽田空港再拡張を目指した取り組み

CASE | 1

### 羽田空港第2旅客ターミナルビルの増築



羽田空港第2旅客ターミナルビルの本館増築工事を2008(平成20)年12月に着工します。D滑走路の整備に伴う国内航空需要増に対応するため、2010(平成22)年度の供用開始を目的に計画を推進してまいります。増築部分においては、出発・到着ロビーの増床を行うとともに、出発保安検査場、到着手荷物ターンテーブル、商業施設を増設するなど、さらなる利便性・快適性・機能性の向上を図ってまいります。

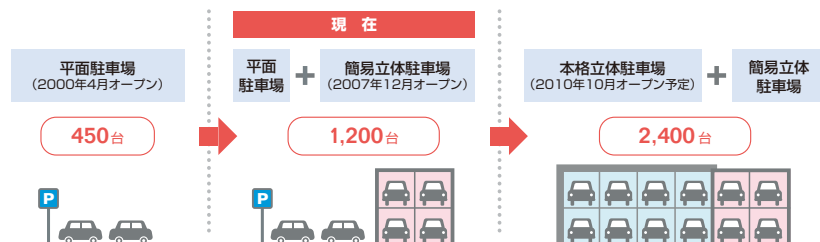
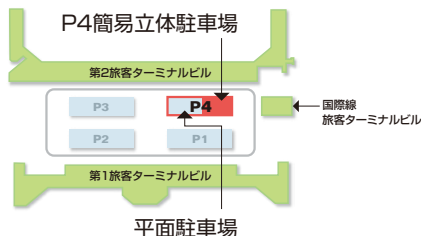
CASE | 2

### P4本格立体駐車場整備



昨年末に供用を開始したP4簡易立体駐車場

羽田空港を利用されるお客様のさらなる利便性の向上および空港内駐車場の混雑緩和を図るため、2007(平成19)年12月「P4簡易立体駐車場」を供用開始いたしました。また、国際旅客チャーター便の増便に伴い、P4駐車場地区と国際線旅客ターミナルビル間を結ぶ歩行者連絡橋を整備いたしました。さらに第2旅客ターミナルビルの増築工事に併せ、P4平面駐車場敷地に約1,600台規模の本格立体駐車場を2008年度内に着工すべく、鋭意準備を進めております。



※本格立体駐車場完成後には、当初の平面駐車場より約5倍収容できるようになります。

CASE | 3

### 新国際線旅客ターミナルビル建設

2003(平成15)年11月の韓国金浦空港への国際旅客チャーター便就航を皮切りに、2007(平成19)年9月の中国上海虹橋空港への就航、2008(平成20)年4月の香港への就航など、羽田空港における国際線の旅客数が増えつつある中、2010(平成22)年10月の国際旅客定期便の就航に対応するため、新たに延床面積159,300平方メートルで地上5階建ての新国際線旅客ターミナルビルが2008(平成20)年5月に、東京国際空港ターミナル株式会社により着工されました。当社は同社より、運営・維持管理、旅客サービス業務等を受託し、今後も国際線を利用されるお客様のご要望にきめ細かく対応し、利便性・快適性・機能性の向上を図ってまいります。



「ソウル」、「上海」に加えて「香港」へも



新国際線旅客ターミナルビル完成予想図

08年4月～	07年9月～	03年11月～
香港	上海(虹橋)	ソウル(金浦)
1日2往復	1日4往復	1日8往復

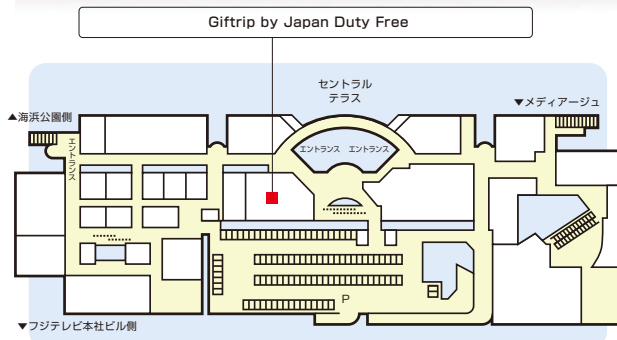
※2008年11月現在



# トピックス

## 利便性・快適性・機能性のさらなる向上を目指して

アクアシティお台場4階  
「Giftrip by Japan Duty Free」がオープン

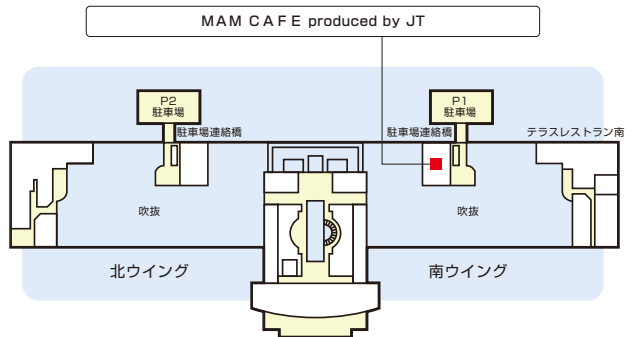


訪日外国人観光客の東京観光ツアーに組み込まれている台場地区の「アクアシティお台場」4階に2008(平成20)年8月1日、「Giftrip(ギフトリップ) by Japan Duty Free」をオープンしました。同店は、お台場ツアーの訪日外国人観光客のニーズに合わせて、従来台場地区になかった電気製品を中心に、さまざまな日本土産をワンストップで購入できる総合ギフトショップです。ショッピングは旅行の楽しみのひとつ、ぜひ楽しい時間をお過ごしください。

第1旅客ターミナル 南ウイング3階に  
「MAM CAFE (ママカフェ) produced by JT」がオープン

現在、第1旅客ターミナルのリニューアルを推進しておりますが、その一環として2008(平成20)年8月25日、羽田空港第1旅客ターミナルの南ウイング3階に喫煙者而非喫煙者が共に楽しめる新しいスペース「MAM CAFE produced by JT」がオープンしました。このスペースは、日本たばこ産業株式会社(JT)により運営されており、喫煙スペースはガラスで区切れ全排気システムにより完全分煙されております。白と黒を基調としたスタイリッシュな空間に、こだわりのカフェメニューと、さまざまな喫煙グッズ・アクセサリーのセレクトショップも併設し、喫煙者だけでなく非喫煙者もたばこの煙を気にせずリラックスして過ごせるスペースとなっております。

※MAMとは、「MOBILE ASHTRAY MUSEUM」で携帯灰皿博物館の略称



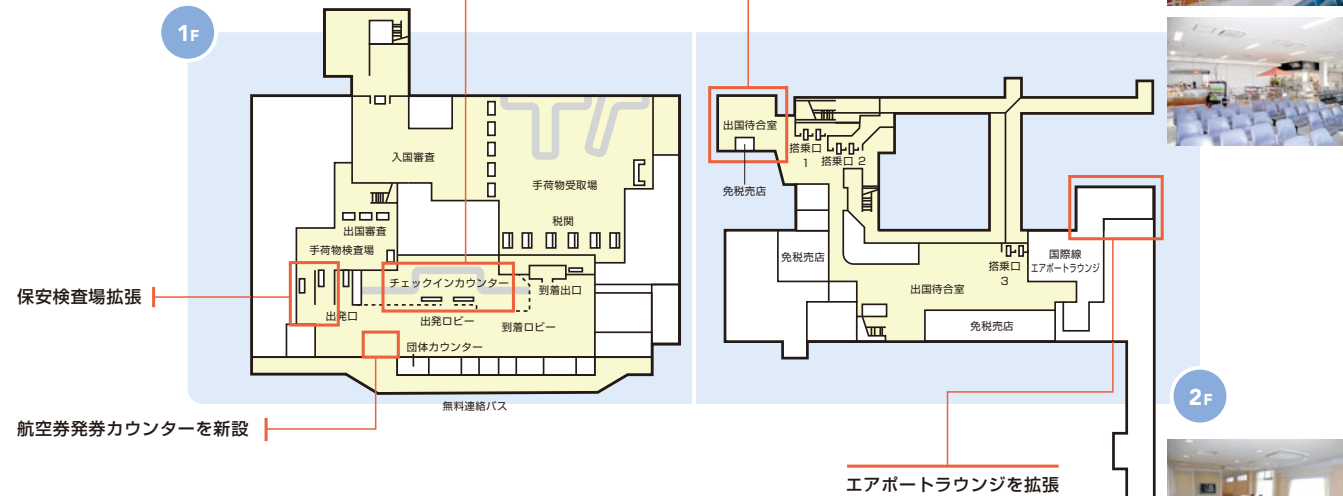
国際線旅客ターミナルビルを増改築  
チャーター便(香港等)の増便に対応

国際線チャーター便(香港等)の増便に伴い、お客様のさらなる利便性の向上を目的に2008(平成20)年2月から国際線旅客ターミナルビルの増改築工事を開始し、同年7月1日に供用を開始しました。チェックインカウンター増設、出国待合室やエアポートラウンジの拡張など、利用されるお客様のご要望にきめ細かく対応し、利便性・快適性・機能性の向上を図っております。



チェックインカウンター増設

出国待合室を拡張



### 株主ご優待券がご利用いただけます



羽田空港旅客ターミナルビル内物販・飲食店舗・エアポートラウンジ(※)にて1枚1,000円の金券としてご利用いただけます。

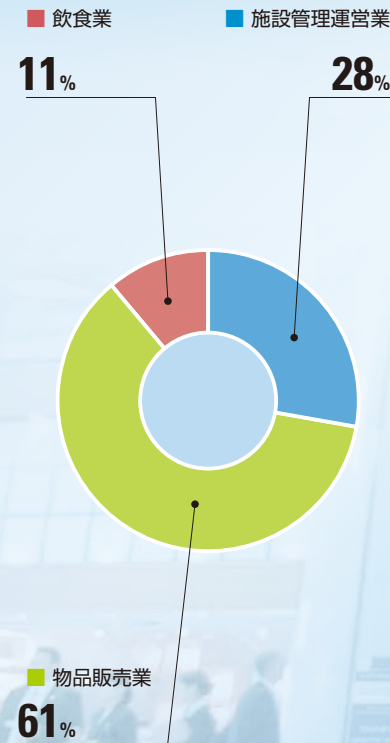
ご所有株式数	配布内容
100株以上 1,000株未満	ご優待券1枚(1,000円)
1,000株以上 10,000株未満	ご優待券2枚(2,000円)
10,000株以上	ご優待券3枚(3,000円)

※ご利用可能店舗は、羽田空港193店舗、成田国際空港25店舗、関西国際空港1店舗です。

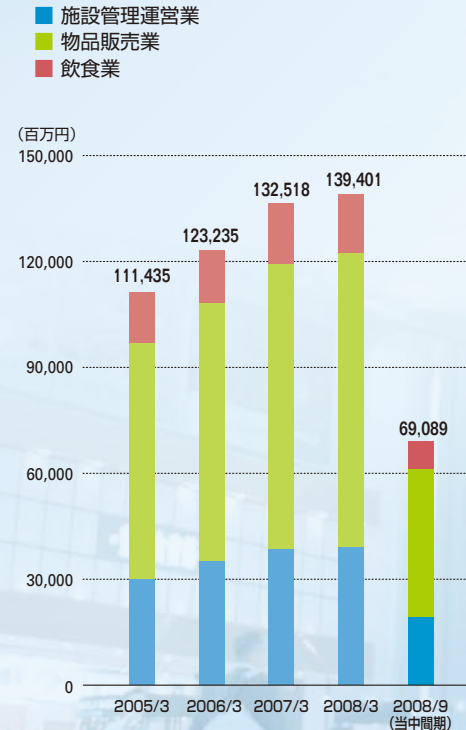


## 事業別概況

## 営業収益比率



## 営業収益の推移



## 施設管理運営業

東京国際空港(羽田)国際線旅客ターミナルビルにおける家賃収入および施設利用料収入は、羽田—上海(虹橋)間、および羽田—香港間国際旅客チャーター便就航等に伴う旅客数の増加が寄与したこと等により、堅調に推移いたしました。

その他の収入は、昨年12月のP4簡易立体駐車場供用開始

による利用台数の増加や、有料待合室「エアポートラウンジ」の利用者数の増加等により、順調に推移いたしました。

その結果、施設管理運営業の営業収益は204億6千3百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は14億1百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

## 物品販売業

国内線売店につきましては、国内線旅客数がほぼ横ばいで推移する中、新商品や季節感のある商品の積極的な催事販売等による販売促進を図り、営業基盤の拡充に努めましたが、一部の店舗におきまして運営形態を変更したことや、成人識別たばこ自動販売機導入に伴い自動販売機売上が減少したこと等により、売上は前年同期を下回りました。

国際線売店につきましては、訪日外国人旅客への販売促進、インターネットを活用した免税品事前予約受付サービスの強化や、店舗のリニューアル等積極的な営業展開を図ることにより売上増加に努めました。東京国際空港(羽田)免税店の売上は、羽田—上海(虹橋)間および羽田—香港間国際旅客

チャーター便就航等に伴う旅客数の増加により好調に推移したものの、成田国際空港の当社免税店売上は、旅客数の大幅な減少や改装に伴う店舗閉鎖が影響したことなどにより、売上は前年同期を下回りました。

その他の売上につきましては、成田国際空港および関西国際空港における卸売が旅客数の大幅な減少等の影響を受け、前年同期を下回りました。

その結果、物品販売業の営業収益は421億6千6百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は41億2千7百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

## 飲食業

飲食店舗につきましては、東京国際空港(羽田)国際線旅客ターミナルビル等における店舗展開が寄与したことにより、売上は前年同期を上回りました。

機内食につきましては、燃油価格の高騰等厳しい事業環境を背景に顧客航空会社が進めるコスト削減や、機材の小型化等の影響を受け機内食提供数が減少するなど厳しい状況にあ

り、売上は前年同期を下回りました。

その結果、飲食業の営業収益は89億4千3百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は食材費の値上がりや大型機A380対応の機内食搭載作業車両導入に伴う減価償却費の増加等により、1億9千5百万円(前年同期比39.0%減)となりました。

※事業別営業収益には、セグメント間の営業収益が含まれます。



## 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表（要旨）

（単位 百万円）

	当中間期 平成20年9月30日現在	前期 平成20年3月31日現在	増 減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>27,593</b>	<b>30,684</b>	<b>△ 3,091</b>
現金及び預金	10,794	16,149	△ 5,355
売掛金	6,747	6,353	394
有価証券	2,847	1,998	849
たな卸資産	3,939	3,920	18
繰延税金資産	1,171	1,172	△ 1
その他	2,133	1,148	985
貸倒引当金	△ 39	△ 57	17
<b>固定資産</b>	<b>156,286</b>	<b>158,441</b>	<b>△ 2,155</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>132,368</b>	<b>134,994</b>	<b>△ 2,625</b>
建物及び構築物	114,816	117,969	△ 3,152
機械装置及び運搬具	2,004	2,168	△ 164
土地	9,010	8,612	397
建設仮勘定	1,176	524	652
その他	5,361	5,720	△ 358
<b>無形固定資産</b>	<b>624</b>	<b>697</b>	<b>△ 72</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>23,292</b>	<b>22,749</b>	<b>543</b>
投資有価証券	12,713	13,823	△ 1,110
繰延税金資産	7,295	7,035	260
その他	3,283	1,890	1,393
<b>資産合計</b>	<b>183,879</b>	<b>189,126</b>	<b>△ 5,246</b>

**有形固定資産** / 建設仮勘定は、羽田空港第2旅客ターミナルビル増築工事等により、6億円増加しましたが、減価償却費の遡減等により建物及び構築物は31億円の減少となりました。これらの結果、当中間期末の有形固定資産は前期末比26億円減の1,323億円となりました。

**(負債の部)**

	当中間期 平成20年9月30日現在	前期 平成20年3月31日現在	増 減
<b>流動負債</b>	<b>26,153</b>	<b>28,188</b>	<b>△ 2,035</b>
買掛金	4,844	4,897	△ 53
短期借入金	9,570	9,929	△ 359
未払法人税等	1,972	2,509	△ 536
賞与引当金	1,115	890	224
役員賞与引当金	94	196	△ 101
その他	8,556	9,765	△ 1,209
<b>固定負債</b>	<b>34,803</b>	<b>39,238</b>	<b>△ 4,434</b>
長期借入金	20,048	24,544	△ 4,496
退職給付引当金	8,405	8,422	△ 17
役員退職慰労引当金	1,255	1,210	44
その他	5,095	5,060	34
<b>負債合計</b>	<b>60,957</b>	<b>67,426</b>	<b>△ 6,469</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	<b>118,364</b>	<b>116,805</b>	<b>1,559</b>
資本金	17,489	17,489	—
資本剰余金	21,310	21,309	0
利益剰余金	79,645	78,086	1,559
自己株式	△ 80	△ 79	△ 0
<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,452</b>	<b>1,800</b>	<b>△ 347</b>
その他有価証券評価差額金	1,471	1,835	△ 364
繰延ヘッジ損益	△ 18	△ 34	16
<b>少数株主持分</b>	<b>3,104</b>	<b>3,093</b>	<b>11</b>
<b>純資産合計</b>	<b>122,922</b>	<b>121,699</b>	<b>1,223</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>183,879</b>	<b>189,126</b>	<b>△ 5,246</b>

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**負債合計** / 羽田空港第1旅客ターミナルビルの改修、第2旅客ターミナルビル増築工事の資金としての長期借入金を約定返済したこと等により、当中間期末の負債合計は、前期末比64億円減の609億円となりました。

## 中間連結損益計算書（要旨）

（単位 百万円）

	当中間期 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	増 減
<b>営業収益</b>	<b>69,089</b>	<b>69,695</b>	<b>△ 605</b>
売上原価	34,585	35,212	△ 627
<b>営業総利益</b>	<b>34,504</b>	<b>34,482</b>	<b>21</b>
販売費及び一般管理費	30,603	30,028	575
<b>営業利益</b>	<b>3,900</b>	<b>4,454</b>	<b>△ 553</b>
営業外収益	764	724	40
営業外費用	457	776	△ 318
<b>経常利益</b>	<b>4,207</b>	<b>4,403</b>	<b>△ 195</b>
特別利益	—	109	△ 109
特別損失	—	8	△ 8
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>4,207</b>	<b>4,503</b>	<b>△ 295</b>
法人税等	1,792	2,368	△ 575
<b>少数株主損益</b>	<b>51</b>	<b>△ 50</b>	<b>102</b>
<b>中間純利益</b>	<b>2,363</b>	<b>2,185</b>	<b>177</b>

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**営業収益** / 羽田国際線羽田-上海間および羽田-香港間チャーター便就航による施設利用料収入等が増加しましたが、成田空港の免税店売上および成田空港・関西空港における卸売の減少等により、当中間期の営業収益は、前年同期比0.9%減となりました。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位 百万円）

	当中間期 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	増 減
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,091</b>	<b>7,336</b>	<b>△ 245</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 6,814</b>	<b>△ 6,538</b>	<b>△ 275</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,695</b>	<b>△ 5,340</b>	<b>△ 354</b>
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0	△ 0
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,418	△ 4,542	△ 876
VI 現金及び現金同等物の期首残高	16,088	18,796	△ 2,708
VII 新規連結子会社の 現金及び現金同等物の期首残高	—	100	△ 100
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	10,669	14,353	△ 3,684

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**営業利益** / 営業収益が前年同期比0.9%減と推移する中、業務委託費等の増加により当中間期の営業利益は前年同期比12.4%減となりました。

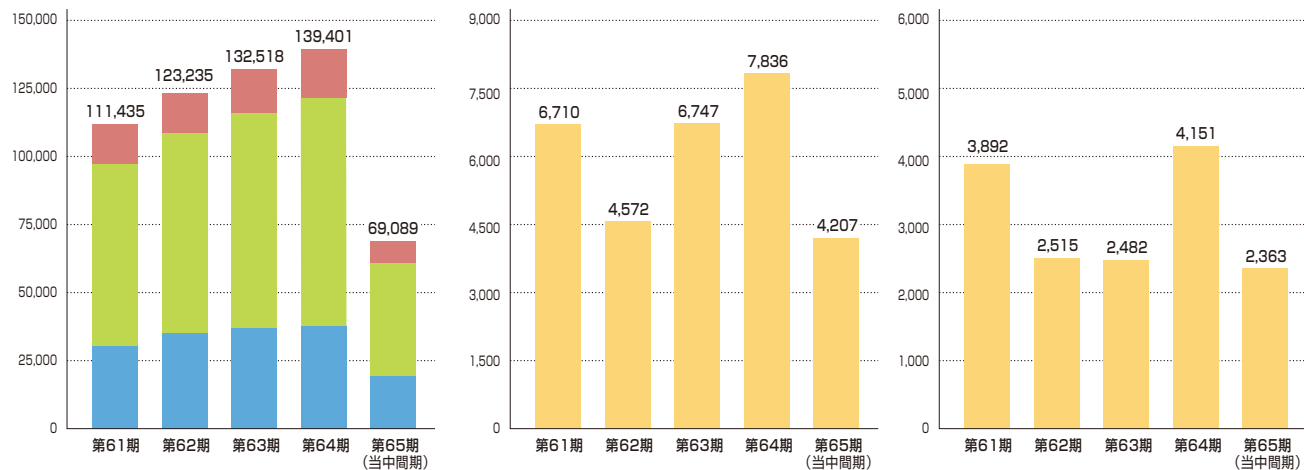




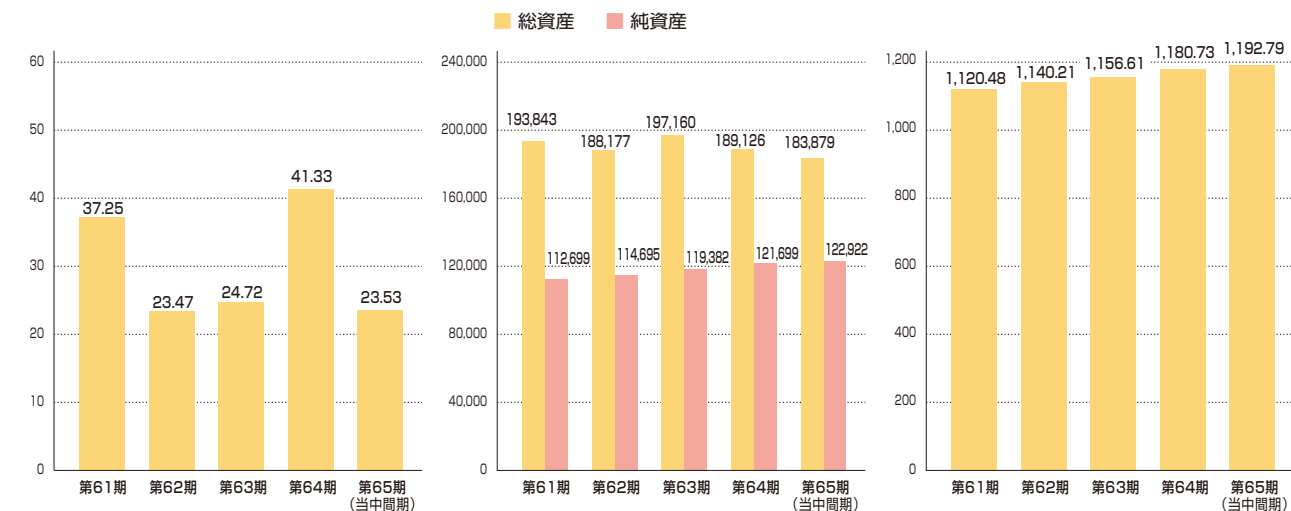
## 連結財務ハイライト

営業収益 (単位 百万円) 経常利益 (単位 百万円) 中間(当期)純利益 (単位 百万円)

■ 施設管理運営業 ■ 物品販売業 ■ 飲食業



1株当たり中間(当期)純利益 (単位 円) 総資産/純資産 (単位 百万円) 1株当たり純資産 (単位 円)



## 単体財務諸表

中間貸借対照表(要旨) (単位 百万円)

	当中間期 平成20年9月30日現在	前期 平成20年3月31日現在	増減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	13,861	17,924	△ 4,063
固定資産	149,560	151,466	△ 1,906
有形固定資産	124,749	127,219	△ 2,470
無形固定資産	568	665	△ 97
投資その他の資産	24,242	23,581	660
資産合計	163,421	169,391	△ 5,969
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	22,913	25,270	△ 2,357
固定負債	33,391	37,752	△ 4,361
負債合計	56,305	63,023	△ 6,718
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	105,726	104,661	1,064
資本金	17,489	17,489	—
資本剰余金	21,310	21,310	0
利益剰余金	67,007	65,942	1,065
自己株式	△ 80	△ 79	△ 0
評価・換算差額等	1,389	1,706	△ 316
純資産合計	107,116	106,368	748
負債純資産合計	163,421	169,391	△ 5,969

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(要旨) (単位 百万円)

	当中間期 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	増減
営業収益	55,656	55,955	△ 298
売上原価	27,472	27,988	△ 516
営業総利益	28,184	27,966	218
販売費及び一般管理費	25,261	24,671	590
営業利益	2,922	3,295	△ 372
営業外収益	719	905	△ 185
営業外費用	461	619	△ 157
経常利益	3,180	3,581	△ 400
特別利益	—	109	△ 109
税引前中間純利益	3,180	3,691	△ 510
法人税、住民税及び事業税	1,312	1,770	△ 458
法人税等調整額	—	△ 80	80
中間純利益	1,868	2,001	△ 132

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 株式情報 (平成20年9月30日現在)

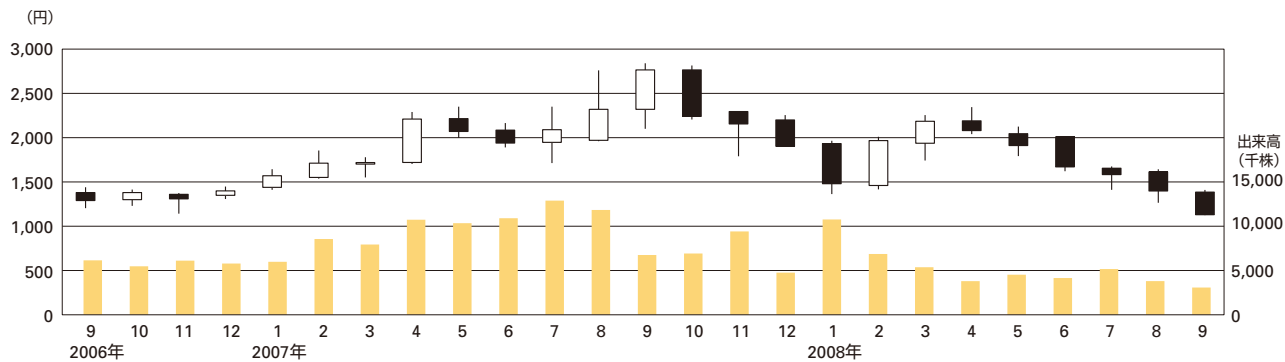
## 株式の状況

発行可能株式総数	288,000,000株
発行済株式の総数	100,540,000株
株主数	5,600名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
マコーリーバンク リミテッド クライアント カस्टディア アカウント	20,000	19.89
株式会社日本航空インターナショナル	4,398	4.37
全日本空輸株式会社	4,398	4.37
株式会社みずほコーポレート銀行	3,835	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	3.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	3.38
三菱地所株式会社	3,111	3.09
大成建設株式会社	2,731	2.71
日本通運株式会社	2,337	2.32
東京海上日動火災保険株式会社	2,071	2.06

## 株価チャート



# 会社概要 (平成20年9月30日現在)

## 会社概要

商号 日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

設立 昭和28年(1953年)7月20日

資本金 174億8,920万円(東証一部上場)

事業内容 (1) 東京国際空港(羽田)旅客ターミナルビルの建設、管理運営

- ① 航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理
- ② 航空運送事業者および空港構内営業者に対する事務室、店舗、作業場等の賃貸

(2) 物品販売業務

- ① 東京国際空港(羽田)旅客ターミナルビルにおける物品販売業務
- ② 成田国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務
- ③ 関西国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務

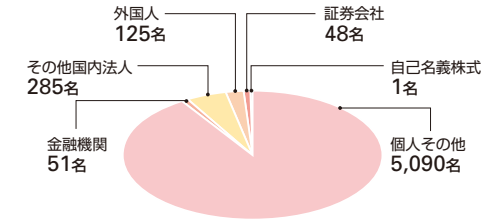
(3) その他のサービス業務

- ① 東京国際空港(羽田)利用者に対する案内業務、駐車場、旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供
- ② 成田国際空港利用者に対する旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供

## 事業概要

東京国際空港(羽田)	成田国際空港	関西国際空港
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>第1旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>第2旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 免税店運営業務受託</li> <li>● 物品販売</li> <li>● 卸売</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物の所有・管理運営</li> <li>● 物品販売(免税店ほか)</li> <li>● 不動産賃貸</li> <li>● 旅客サービス</li> </ul> <p>国際線旅客ターミナルビル</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駐車場の管理運営</li> <li>● P1立体駐車場</li> <li>● P4簡易立体駐車場</li> <li>● P4平面駐車場</li> <li>● P5平面駐車場</li> </ul> <p>駐車場</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卸売</li> </ul>
<h3>中部国際空港</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卸売</li> </ul>		

## 所有者別株主数分布



## 所有数別株主数分布 (単元株式数=100株)

